

市指定記念物 (天然記念物)



写真は田沢湖郷土史料館所蔵の石灰華

- ・名 称 石灰華生成地 (せっかいかせいせいち)
- ・指定年月日 昭和38年10月15日
- ・所 在 田沢湖生保内字黒沢野 地内
- ・所 有 者 生保内財産区

石灰華は、石灰を含む水溶液から沈殿した炭酸カルシウムで形成されます。温泉の近くでは特に形成されやすいといえます。以前、秋田大学鉱山学部採鉱学科赤尾教授の鑑定によれば、温泉による沈殿物が冷却し、凝結したものであったといえます。この石には、木の葉の跡が付いていることが多く、一般的には「木の葉石(このはいし)」と呼ばれ、盆栽の水石として重宝されています。

市指定有形文化財 (考古資料)

- ・名 称 瑪瑙装身玉 (めのうそうしんだま)
- ・指定年月日 昭和37年5月30日
- ・所 在 田沢湖郷土史料館
- ・所 有 者 小玉 昌一

この瑪瑙玉は、乳白色の中に雲形の模様が美しく流れています。直径4cm、厚さ1～2cmで、重さは40gほどあります。中央より厚さの薄いほうに偏って穴が開けられています。この穴は、両方から鋭利な石で錐揉み(きりもみ)して開けたとみられ、中ほどが少し狭くなっています。所有者が自宅近くの畑を拓いた時に出土したもので、自宅改築時に出土の縄文土器の甕(かめ)の時代からみて、縄文中期と推定されています。



埋蔵文化財センターからのお知らせ

平成20年度県埋蔵文化財センター第2回企画展「秋田の狩猟文化」

はるか旧石器時代から縄文時代、そして現代のマガキへといたる狩猟文化の系譜をたどり、秋田を舞台に自然と共生した人々の営みについて考えます。

あわせて、大正～昭和にかけて角館で活躍した考古学・マガキの研究者、武藤鉄城氏の業績も紹介します。

- 期 間：平成21年2月27日(金)まで
- 会 場：県埋蔵文化財センター(大仙市払田)
- 入場料：無 料